

6. 桐生市水道再生マスタープランのフォローアップ

6.1 進捗管理指標の作成と開示

「水道再生マスタープラン」の進捗管理を行う上では、業務指標(PI)の活用が挙げられます。

- 桐生市の業務指標(PI)の過去6年間の実績は、資料編に示すとおりです。
- 「水道再生マスタープラン」の推進によって、市民サービスに関する業務指標(PI)の値は改善方向へと変化していきます。

また、将来的に厳しい財政状況においても財政関係の業務指標(PI)の値が悪化しないように、適正な投資水準を定め、今後も健全な事業運営をしていけるように努めていきます。

- 今後、これらの業務指標(PI)について、ホームページ等で指標値の状況を公表していきます。

桐生市ホームページアドレス <http://www.city.kiryu.lg.jp/>

6.2 桐生市水道再生マスタープランの見直し

- 「おいしい」「活力」「安定」に対する現在の桐生市民の意識を、アンケート調査などで把握し、結果をホームページ等で公表します。
- 広報や出前講座等を通じて水道局からマスタープランの進捗状況を説明します。
- 水道局と市民が協働し、「PDCA サイクル^{*}」を活用することで、マスタープランのフォローアップを行います。

※PDCA サイクル

Plan(計画)、Do(実施)、Check(点検)、Action(是正)を意味し、品質向上のためのシステムの考え方です。品質管理の父といわれるデミングが提唱した概念で、単に PDCA という場合もあります。

計画を作成(Plan)し、その計画を組織的に実行(Do)し、その結果を内部で点検(Check)し、不都合な点を是正(Action)したうえでさらに、元の計画に反映させていくことで、螺旋状に、計画内容の維持・向上や事業の継続的改善を図ろうとするものです。